

Mini-1BT 設定

バーコード ID 設定

バーコード種類による ID を先頭に表示する設定です。

有効に設定すると先頭のそれぞれの種類の ID が表示されます。
CODE39【チェックデジットなし】の“123456789012”を読み込んだ場合、
FactoryID の場合⇒M123456789012
AIM ID の場合⇒]A0123456789012

FACTORY ID 有効	 <p>.A008\$</p>
AIM ID 有効	 <p>.A014\$</p>
CODE ID 無効 ID を先頭につけません。	 <p>.A009\$</p>

文字付加の設定を行った場合、下記のような表記になります。

例) CODE39 の“123456789012”

プレマブルで”3333”

AIM ID 有効

⇒3333]A0123456789012

先頭に負荷される文字は、下記表をご参照ください。

バーコード種類	Factory ID	AIM ID
EAN128	T	JC1
CODE128	K	JC0
EAN8(アドオン なし)	S	JE4
EAN8(アドオン 2)		JE4
EAN8(アドオン 5)		JE4
UPC-E(アドオン なし)	E	JE0
UPC-E(アドオン 2)		JE3
UPC-E(アドオン 5)		JE3
UPC-A(アドオンなし)	A	JE0
UPC-A(アドオン 2)		JE3
UPC-A(アドオン 5)		JE3
JAN/EAN13(アドオンなし)	F	JE0
JAN/EAN13(アドオン 2)		JE3
JAN/EAN13(アドオン 5)		JE3
CODE93	L	JG0
CODE32	B	JX0
NW-7	N	JF0
NW-7(チェックデジットあり送信)		JF2
NW-7(チェックデジットあり未送信)		JF4
フルアスキーCODE39(チェックデジットなし)	D	JA4
フルアスキーCODE39 (チェックデジットあり 送信)		JA5
フルアスキーCODE39 (チェックデジットあり 未送信)		JA7
スタンダード CODE39(チェックデジットなし)	M	JA0
スタンダード CODE39 (チェックデジットあり 送信)		JA1
スタンダード CODE39 (チェックデジットあり 未送信)		JA3
Interleaved 2 of 5 (チェックデジットあり 送信)	I	JJ1
Interleaved 2 of 5 (チェックデジットあり 未送信)		JJ3
Interleaved 2 of 5(チェックデジットなし)		JJ0